



地域に生きる一員として、 安心を支えていきたい。

その時、まずJAのライフアドバイザーが駆けつけたのは、被災した地元地域の方のお宅でした。

自らも被災し、地域の一員として、共に心を痛めながら。

この地で暮らし続けるという想いを胸に、地域の皆さまの暮らしの復興を支える力になりたいと願い、行動しました。

いざという時はみんなで助け合って乗り越えていく。

それは、自然と向き合う農業から生まれた

「助け合い」の心。JA共済の原点です。

あの日から6年、あらためてその原点を胸に、

これからも、一人のための想い、みんなで助け合う

協同組合として、地域に安心を広げてまいります。

JA共済は、「農」に根ざし、自然災害に備える

「助け合い」から生まれました。



耕そう、大地と地域の未来。

 **JA共済**

「協同組合」は、2016年11月、ユネスコの「無形文化遺産」に登録されました。